

議決権行使レポート

証券コード 5659

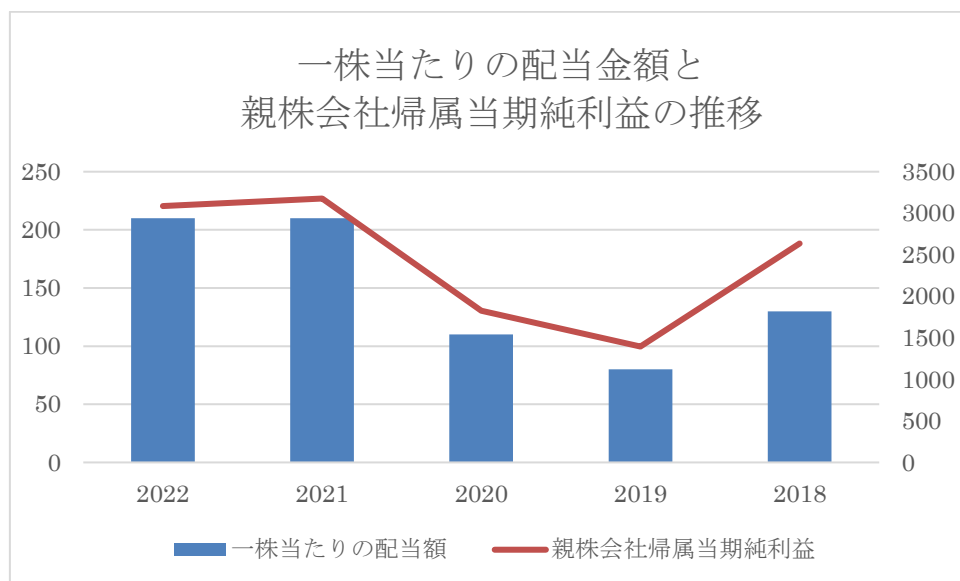
会社名 日本精線

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役7名選任の件			
新貝 元 氏		○	
利光 一浩 氏	○		
高橋 一朗 氏	○		
滝沢 正明 氏		○	
内山 由紀 氏	○		
今泉 泰彦 氏		○	
高宮 伸 氏	○		
第3号議案 監査役2名選任の件			
近藤 雅昭 氏		○	
岩谷 直樹 氏		○	
第4号議案 補欠監査役1名選任の件			
南 昌作 氏	○		
第5号議案 会計監査人選任の件	○		
第6号議案 役員賞与支給の件	○		

上記の推奨をした理由

**第1号議案 剰余金の処分の件**

日本精線の今期の配当性向は42.5%である。それに加えて過去の推移も30%~40%であり、ISSが示す賛成基準の15%~100%の範囲内である。また一株当たりの配当金額も親株会社帰属当期純利益の増減に従っており、2022年度は2021年に比べて増加した。以上の理由から賛成票を投じる。



## 第2号議案 取締役7名選任の件

### 新貝 元 氏

日本精線の現在状況について述べる。

- ・環境問題に対する取り組みについては、CO<sub>2</sub> や有害化学物質の排出量削減に取り組み、成果が出てきている。
- ・日本精線の今期の ROE は 8.3% となり、過去 5 年での ROE の平均は 5.58% といずれも ISS の賛成基準値である 5% を上回っている。
- ・昨年度 2021 年度の政策保有株式は純資産の中の 0.14% となり、ISS が示す過度な保有状況である 20% を大きく下回っている。

\*2022 年度の情報が入手できなかったため、今期も続けて問題がない状態であるとはいえない。だが 2021 年度～2018 年度までの過去 4 年間の平均値は 0.75% になっており、問題がない状態が続いている。

- ・株主総会後の取締役会において、7 名中 3 名（滝沢 正明 氏、内山 由紀 氏、今泉 泰彦 氏）が社外取締役であるという状態になっており、ISS の賛成基準を満たしている。
- ・女性取締役は 1 名（内山 由紀 氏）おり、ISS の賛成基準値を満たしている。
- ・在籍する 3 名の社外取締役の中で、滝沢 正明 氏は岡谷鋼機株式会社の元取締役であり、同社グループは当期連結売上の 2% 未満の額であるが、日本精線と取引があり、十分な独立性があるとは断念できず、今泉 泰彦 氏においても日本精線の主要な取引金融機関である株式会社みずほ銀行の元取締役であり、完全に独立しているとは断念できない。

このように経営状態に関して他の項目に関しては申し分ないが、最後の 1 項目において ISS の基準を満たしているとはいいきれないため、過去 7 年間日本精線経営トップの取締役であり続けてきた新貝 元 氏の責任を鑑みて反対票を投じる。

#### 利光 一浩 氏

SDGs、コーポレートガバナンス・コード等の非財務面の改革推進の実績があり、日本精線の企業価値向上のために必要であるため、賛成票を投じる。

#### 高橋 一朗 氏

取締役 7 名のなかで唯一日本精線一筋の社員であり、被雇用者と経営陣の橋渡しの役割が期待できるため賛成票を投じる。

#### 滝沢 正明 氏（社外取締役）

ISS の基準では社外取締役の賛成基準は前年会計年度において取締役会の出席率が 75% 以上であることだけであり、同氏はそれを満たしている。しかし先ほども述べたように社外取締役として、独立性の点で懸念事項が生じているため反対票を投じる。

#### 内山 由紀 氏（社外取締役）

取締役会の出席率についての ISS の基準を満たした上、独立性に問題がなく、同氏は長年にわたる弁護士活動と他社における社外監査役としての経営経験を有していることから、コンプライアンスの徹底・リスクマネジメントの強化の面において日本精線に貢献することが期待できるため、賛成票を投じる。

#### 今泉 泰彦 氏（社外取締役）

株式会社日本興業銀行に入学し禁輸業務に関する豊富な実務経験を有するとともに、長年にわたって企業経営に携わってきたことから、日本精線の経営を社外から客観的に判断することが期待できるとともに、取締役会の出席率についての ISS の賛成基準を満たしている。しかし先ほど述べたように社外取締役として、独立性の観点から懸念が残るため反対票を投じる。

#### 高宮 伸 氏

同氏はステンレス鋼の販売に関して深い知識と経験を持っており、それらを日本精線の企業経営において発揮することが期待されるため、賛成票を投じる。

### 第 3 号議案 監査役 2 名選任の件

#### 近藤 雅昭 氏

同氏は日本精線に長年勤務しており、独立性があるとは言えない。よって ISS の賛成基準を満たしていないため、反対票を投じる。

#### **岩谷 直樹 氏**

同氏は岩谷産業株式会社の監査役であり、その会社の元役員でもある。岩谷産業株式会社は日本精線と当期連結売上高の2%未満ではあるが取引がある。そのため十分な独立性がありISSの賛成基準をみたしているとは言い切れないので反対票を投じる。

#### **第4号議案 補欠監査役1名選任の件**

#### **南 昌作 氏**

同氏は長年にわたる弁護士としての豊富な経験と実績と、他社における社外取締役としての経営経験を有しており、これらの経験及び知見は日本精線にとって有益である。また同氏はリーガル・ソリューション法律事務所の立ち上げメンバーであり、株式会社梅の花の社外取締役役を兼務しているが、これらと日本精線の間に関係契約や取引はないため、同氏の独立性が確保されている。それゆえ賛成票を投じる。

#### **第5号議案 会計監査人選任の件**

会計監査人の選任に対して仰星監査法人は、前任のひびき監査法人と所属の会計士人数や資金の面で劣る点はないので引継ぎに対する懸念はなく、引継ぎ理由の妥当性も十分あるため賛成票を投じる。

#### **第6号議案 役員賞与支給の件**

2022年度の親株会社に帰属する当期純利益の増大や、一株あたりの配当金の増加の業績を鑑みれば妥当であり、賞与支給の対象は常任取締役であるので賛成票を投じる。